学校番号	315

令和８年度　地理歴史科

教　科	地理歴史	科 目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	地理探究（山川出版社）　／　高等地図帳（山川出版社）						
副教材等	地理統計要覧 2026 年版・vol.66（山川出版社） ／　Winning COM.-PASS　地理の整理と演習　2026 年度用（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・自然環境について、山脈・平地・河川・海洋などの名称と位置や形成要因、世界の気候と自然生活について地理上の特性を知る。

・資源と産業について、第１次産業から第３次産業に至るまでを系統地理的に考察する。

・交通、人口、村落・都市、国家について位置や地理上の特性を知る。

・世界のそれぞれの地域に居住する人間の営みについて、自然環境や社会的特性、国際上の関係性に関連づけて理解する。

2　学習の到達目標

社会的事象の地理的な見方や考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を育成することをめざす。

・日本を含む世界の生活と文化の地域的な特色について、基本的な事柄を理解し、知識を身に着けている。

・地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察し、国際社会の変化に的確に対応でき、自らの意見を論理的に述べ、まとめる技能を身につけるようにする。

・地理的事象について高い関心を持ち、現代的な諸課題に対して課題意識を有しており、国家および社会の形成に積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地名や地形名、地理的語句を覚える。その際、関連事項とリンクさせつつ理解し身につける。 読図、統計資料を解析し、系統地理的手法、地誌的手法で各地域の特徴とそこに居住する人間の生活文化を知るための技量、表現力を身につける。	現代世界の現状と諸課題を地理的観点から論理的に考え、考察し、それら課題を解決するためにはどうすればよいかを論理的に考え、表現する。	国際社会の一員として、主体的に生き、責務を果たすために必要な地理的知識、技量、思考力に関心を持ち、意欲的である。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期前半	現代世界の系統地理的考察	第1章　自然環境 ・地形 ・気候と生態系 ・世界各地の自然と生活 ・日本の自然環境と防災 ・地球環境問題	a:各項目における規則性、傾向性や諸事情などについて理解することができる。 地図やGISなどを用いて適切かつ効果的に調べ、読み取り、まとめることができる。 b:各項目における成因や関係性などに注目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各項目において、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・地形図の読み取りやハイサーグラフを作成するワークシート ・教科書の内容を確認する定期考査問題	・地域の望ましい防災のあり方を判断し、適切に表現するワークシート ・教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる定期考査問題	・これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート
1学期後半		第2章　資源と産業 ・農林水産業 ・資源・エネルギー ・工業 ・第3次産業 第3章　人・モノ・金のつながり ・交通・通信 ・貿易・観光	a:各項目における諸事情の規則性、傾向性や、諸事象の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 b:各項目における地域的な特徴や地域的な結びつき、および、社会への影響などに注目して、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各項目において、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・産業や貿易に関わる統計の読み取りや主題図を作成するワークシート ・教科書の内容を確認する定期考査問題	・産業の発展と貿易の進展に伴う問題の望ましい解決策を判断し、適切に図示するワークシート ・教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる定期考査問題	・これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期前半	現代世界の系統地理的考察	第4章　人口、村落・都市 ・人口 ・村落・都市 第5章　文化と国家 ・生活文化と言語・宗教 ・国家とその領域 **※ この単元の学習内容が、日本の領域、領土に関する単元でございます**	a:各項目における空間的な規則性、傾向性や、諸事象の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解することができる。 b:各項目における人間の活動について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 c:各項目において、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	・人口や民族の分布に関する主題図を作成するワークシート ・教科書の内容を確認する定期考査問題	・人口問題や都市問題、民族紛争や領土問題の望ましい解決策を判断し、適切に表現するワークシート ・教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる定期考査問題	・これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート
2学期後半	現代世界の地誌的考察	第1章　地域区分 第2章　現代世界の諸地域 ・中国 ・朝鮮半島 ・東南アジア ・南アジア ・西アジア・中央アジア ・北アフリカ・サブサハラアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア	a:世界の諸地域における歴史的背景や、自然、文化、経済、産業などについて、各項目と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 b:世界の諸地域における歴史的背景や、自然、文化、経済、産業などについて、世界各国との関係を関連付けながら考察することができる。 c:世界の諸地域と日本との関係を踏まえつつ関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。	・世界の諸地域にみられる地域的特徴や地球的課題を整理するワークシート ・教科書の内容を確認する定期考査問題	・三つの地誌的考察方法を活用して諸地域の地域的特徴や地球的課題を判断し、適切に表現するワークシート ・教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる定期考査問題	・これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	現代世界の地誌的考察	第2章　現代世界の諸地域 ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オートラリア ・ニュージーランドと島嶼国	a:世界の諸地域における歴史的背景や、自然、文化、経済、産業などについて、各項目と関連づけながらその特色や課題を理解し、知識として身につけることができる。 b:世界の諸地域における歴史的背景や、自然、文化、経済、産業などについて、世界各国との関係を関連付けながら考察することができる。 c:世界の諸地域と日本との関係を踏まえつつ関心を高め、それを意欲的に追究しようとしている。	・世界の諸地域にみられる地域的特徴や地球的課題を整理するワークシート ・教科書の内容を確認する定期考査問題	・三つの地誌的考察方法を活用して諸地域の地域的特徴や地球的課題を判断し、適切に表現するワークシート ・教科書の内容をもとに自らの考えをまとめる定期考査問題	・これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかを見取るワークシート

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	現代世界におけるこれからの日本の国土像	現代世界におけるこれからの日本の国土像	a:日本がかかえる地理的な諸課題を探究する過程において、主体的に課題を設定して探究し発表するという過程を通し、課題解決への視点や方法を身につけることができる。 b:自然災害や産業の変化、人口減少、多文化共生社会への対応など、日本の国土や社会・経済の特色について、これまでの地図・系統的・地誌的学習をふまえ様々な視点から客観的に考察し、その過程や結果について適切に表現することができる。 c:さまざまな視点から多面的・多角的に分析・考察し、仮説の検討を進めることにより、将来の国土像について積極的に展望しようとしている。	・課題の解決に向けて、これまでに学んできたことの整理するレポート	・探究した内容について適切に文章化、表・グラフ化すること ・発表内容、方法、質疑応答	・授業での取り組みや発言などの学習状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度